

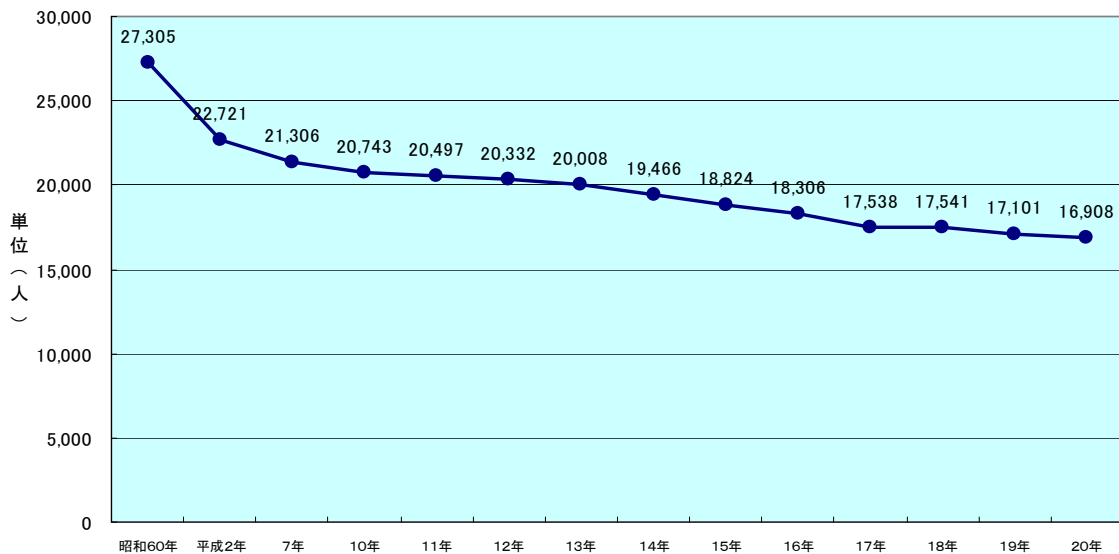
[1] 人口動態

1 少子・高齢化の現状と社会環境の変化

① 出生数

本県の出生数は、戦後の第1次ベビーブームの約72,000人をピークに急減し、その後、第2次ベビーブームに当たる昭和48年～49年頃に32,000人台まで回復しましたが、それ以降は減り続け、平成20年には16,908人まで減少しました。

福島県の出生数



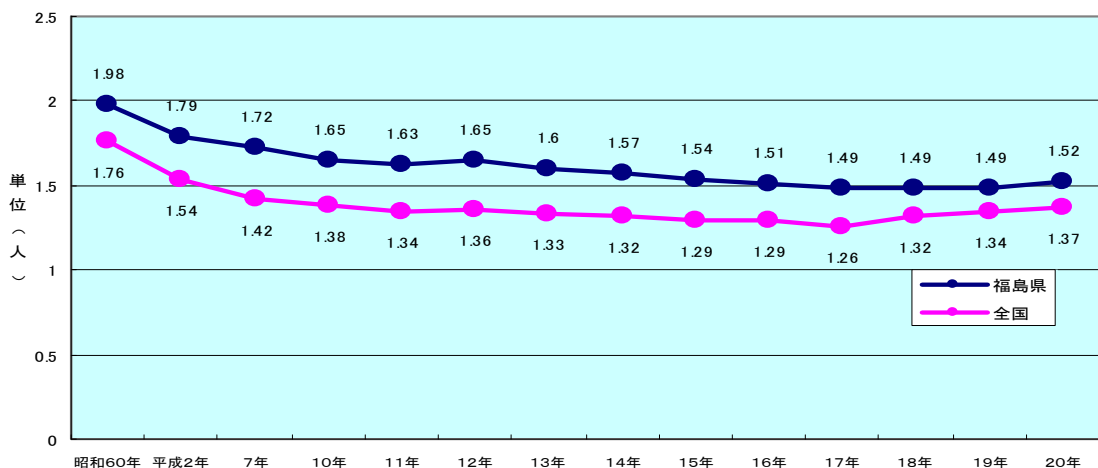
資料：人口動態統計（厚生労働省統計情報部）

② 合計特殊出生率

本県の合計特殊出生率は、全国を上回る水準で推移していますが、昭和55年以降、現在の人口を維持するのに必要な2.07を下回る状態が続いています。

なお、平成20年における本県の合計特殊出生率は、全国8位となっています。

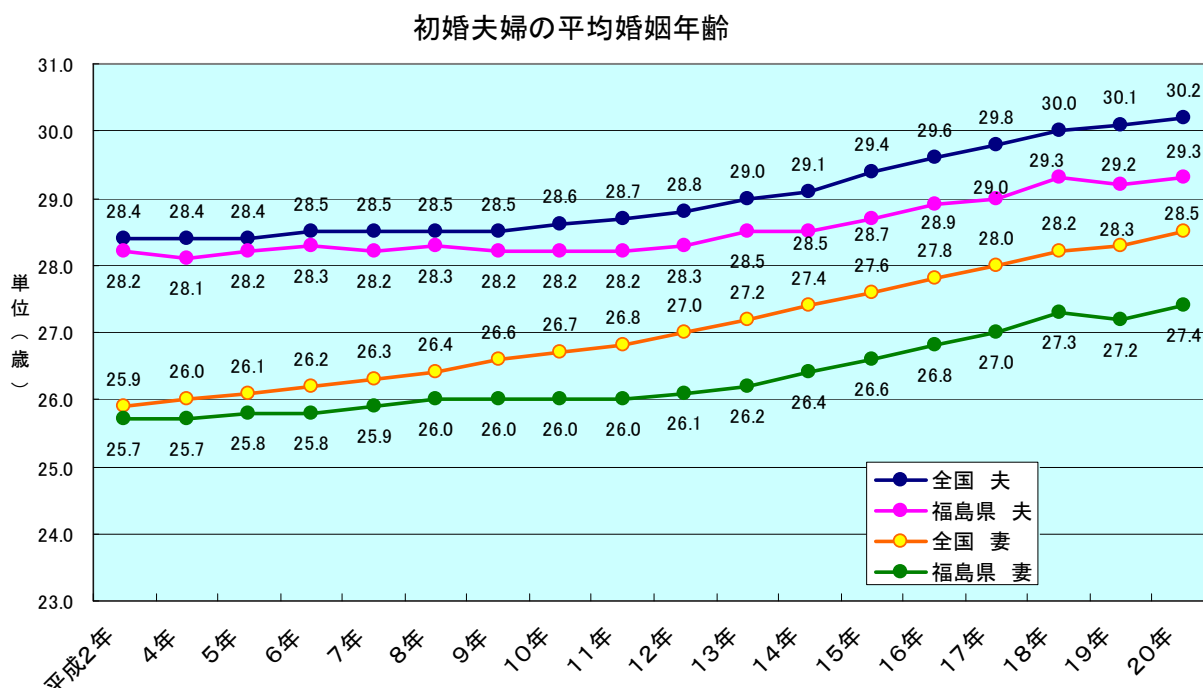
合計特殊出生率



資料：人口動態統計（厚生労働省統計情報部）

③ 平均初婚年齢

本県の平均初婚年齢は、全国平均を下回っているものの、年々上昇傾向にあり、晩婚化が進んでいます。少子化の一因になると考えられています。



資料：人口動態統計（厚生労働省統計情報部）

④ 母の年齢別出生数構成の割合

母の年齢別出生数構成割合をみると、近年、晩産化の傾向にあります。

母の年齢（5歳階級）別出生数構成割合の推移

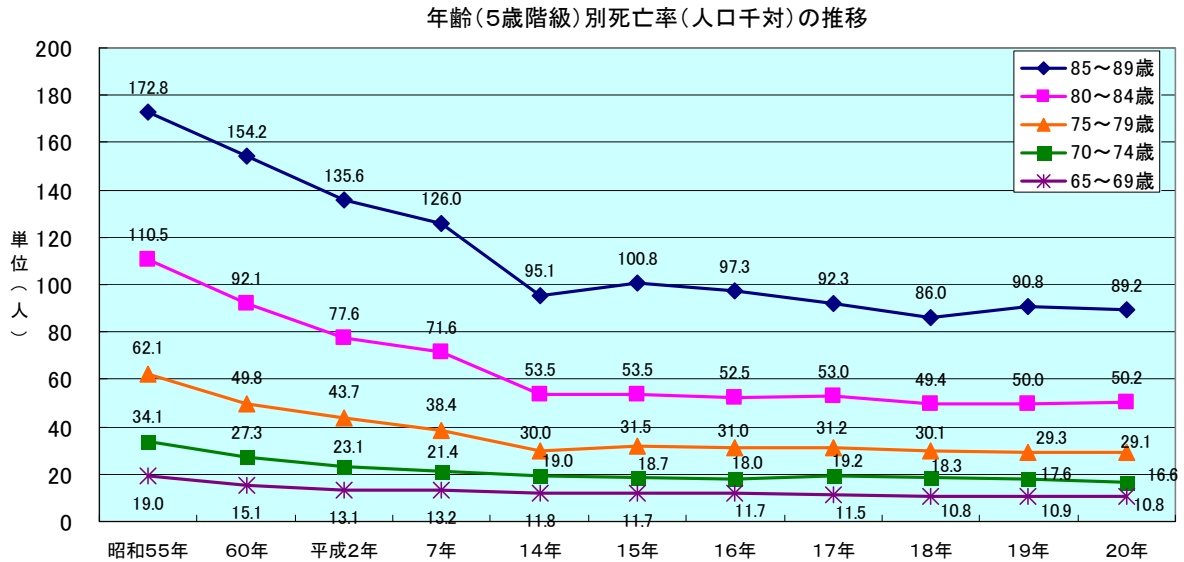
単位 (%)

年齢階級	総数 (100%)	～15	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～	不詳
平成 2年	100.0	-	1.4	16.3	44.9	29.7	7.1	0.7	-	-	-
平成 7年	100.0	0.0	1.6	19.0	39.2	30.0	9.1	1.0	0.0	-	-
平成14年	100.0	-	2.5	19.6	37.7	28.6	10.2	1.3	0.0	-	-
平成15年	100.0	0.0	2.4	18.3	37.1	29.5	11.0	1.6	0.0	0.0	-
平成16年	100.0	-	2.5	18.3	35.1	31.3	11.1	1.7	0.0	-	-
平成17年	100.0	-	2.1	17.6	34.8	32.0	11.8	1.6	0.1	-	-
平成18年	100.0	0.0	1.9	17.3	34.0	32.3	12.7	1.7	0.1	-	-
平成19年	100.0	0.0	1.6	16.8	33.8	32.6	13.1	2.0	0.1	-	-
平成20年	100.0	0.0	1.9	16.5	32.7	32.6	14.1	2.2	0.0	-	-

資料：人口動態統計（厚生労働省統計情報部）

⑤ 年齢別死亡率

高齢化をもたらした原因に、死亡率の低下があり、特に平成2年以降は高齢層の低下が大きく貢献しています。

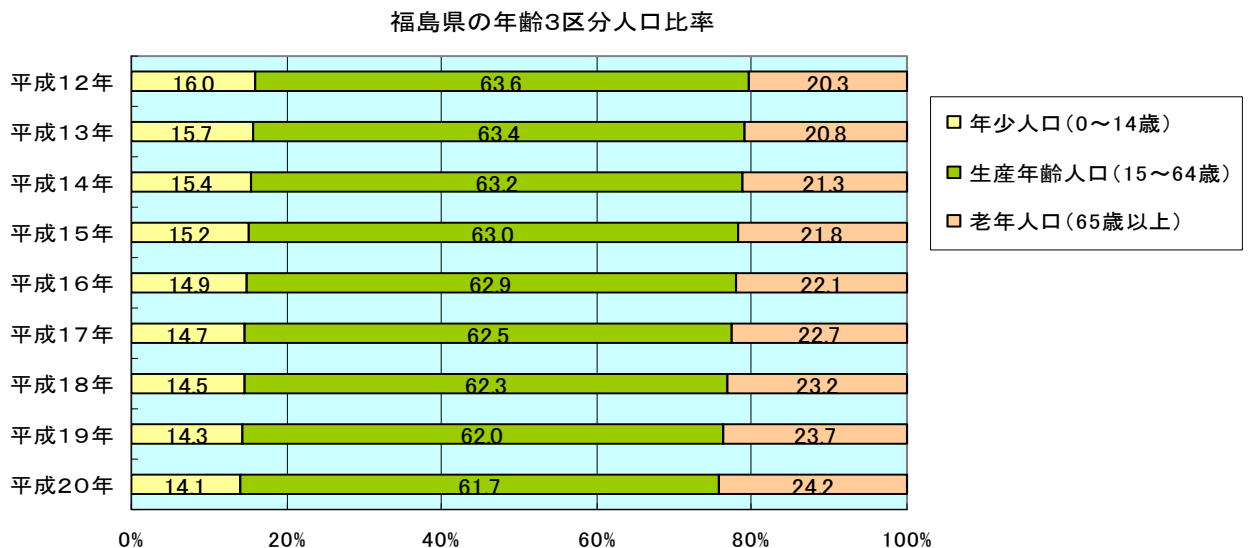


資料：人口動態統計（厚生労働省統計情報部）

⑥ 年齢3区分人口比率

本県の年少人口比率は、平成20年10月1日現在14.1%(全国13.5%)、老年人口比率は24.2%(全国22.1%)で、ともに全国に比べ高くなっています。

平成8年に初めて老年人口比率が年少人口比率を上回って以来、その差は大きくなっています。



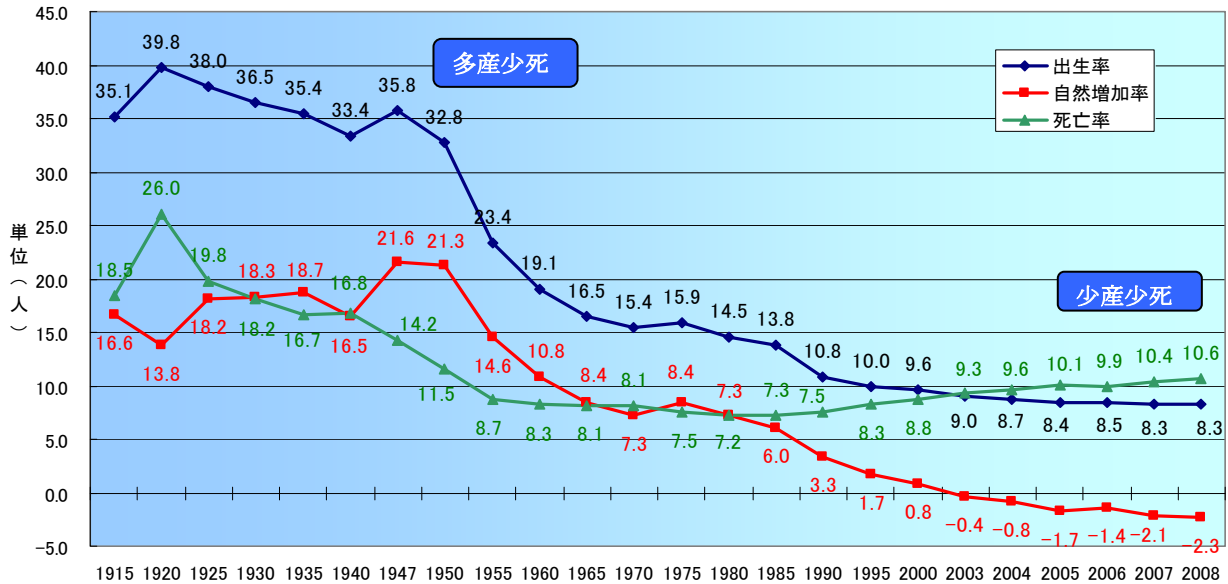
資料：平成12年、17年：国勢調査（総務省統計局）、

平成13年～16年、18～20年：福島県現住人口調査（福島県企画調整部）

⑦ 人口転換

本県の出生等における人口動態は、高出生率で死亡率が低下する「多産少死」の状態から、出生率と死亡率も低い「少産少死」が続いています。

出生率・死亡率・自然増加率(人口千対)の推移



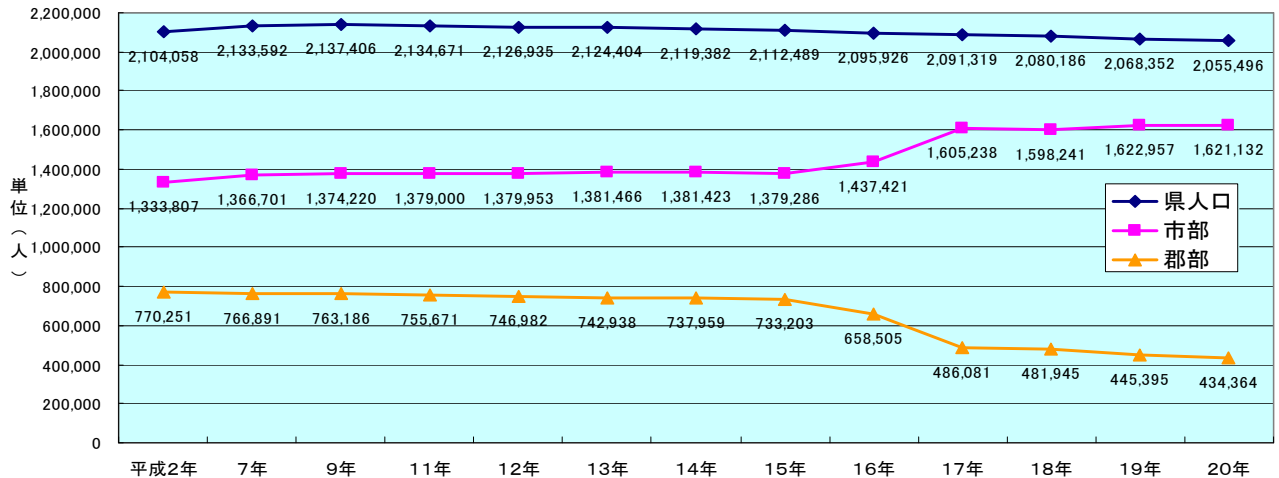
資料：人口動態統計（厚生労働省統計情報部）

[2] 人口と世帯

① 人口の推移

本県の人口は、昭和32年の209万9千人をピークに、その後県外への人口流出等により年々減少し、昭和47年には192万7千人になりました。しかし、昭和48年から増加に転じ、昭和53年には200万人を超え、平成9年に2,137,406人でピークに達した後、ゆるやかな減少傾向にあります。

福島県の人口の推移

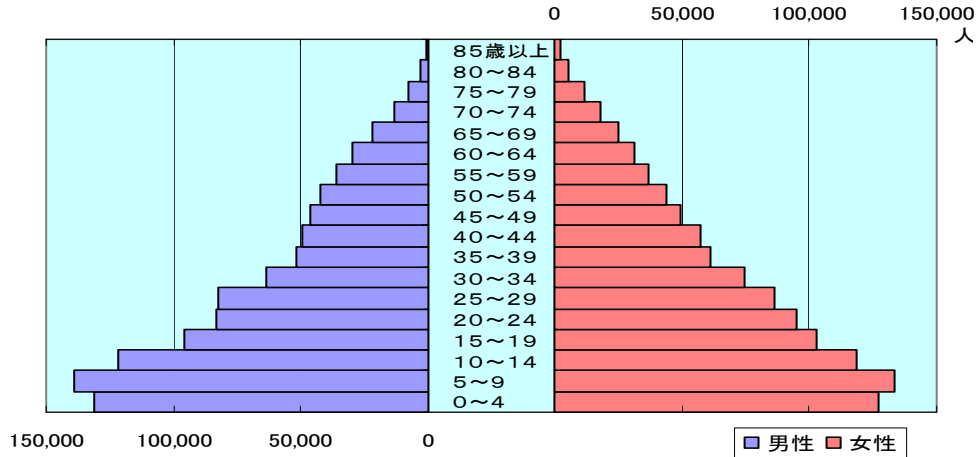


資料：国勢調査（総務省統計局）、福島県現住人口調査（福島県企画調整部）

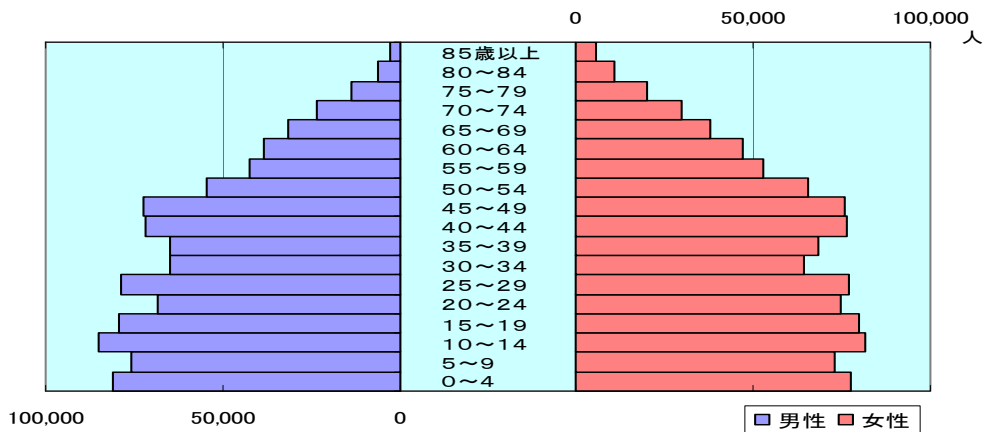
② 福島県の人口ピラミッド

本県の人口は昭和30年、昭和50年、平成20年を比較すると年少人口(15歳未満の人口)が減少し、老年人口(65歳以上の人口)が増加する少子化、高齢化が進行していることがわかります。

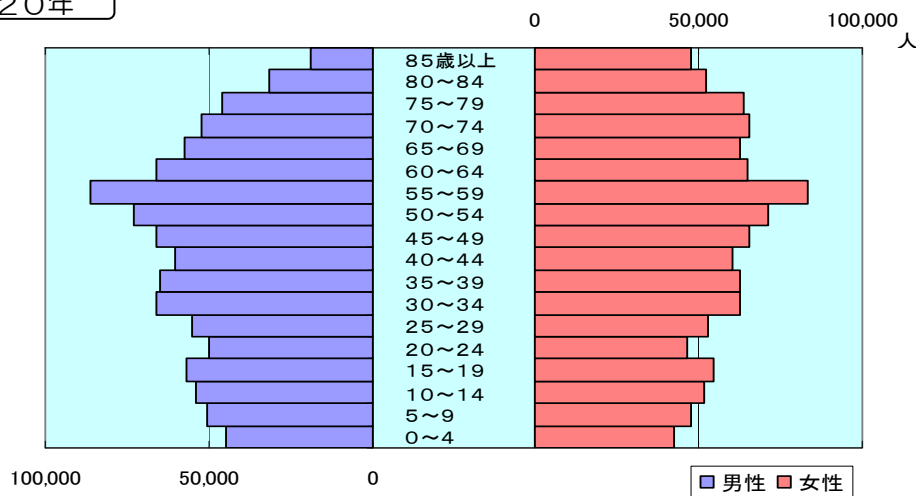
昭和30年



昭和50年



平成20年

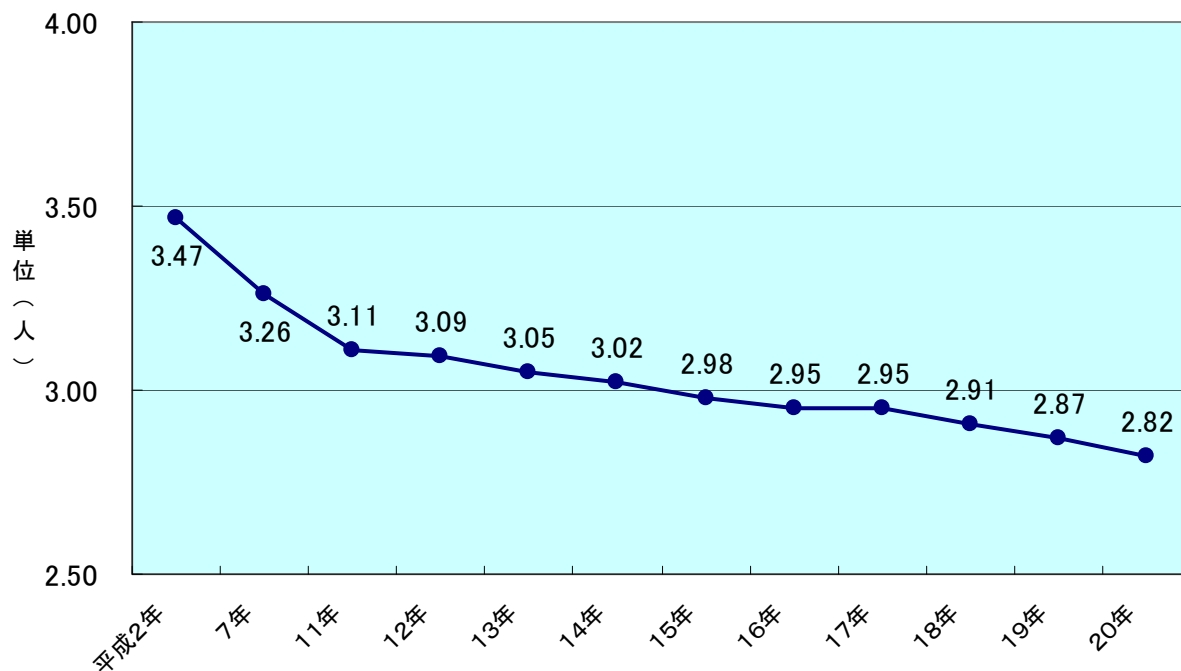


資料：福島県現住人口調査（福島県企画調整部）

③ 一世帯当たりの人員

一世帯当たりの人員も年々減少しており、核家族化が進行しています。

一世帯当たりの人員の推移



資料：福島県現住人口調査（福島県企画調整部）